

[5] バングラデシュ

主要経済指標等（2012年）

●人口	1.55億人
●GNI 総額	1,273.20億ドル
●GNI 一人あたり	830ドル
●経済成長率	6.2%
●失業率	4.5%
●対外債務残高	261.30億ドル
●援助受取総額（支出純額）	21.52億ドル
●DAC分類	後発開発途上国
●世界銀行分類	i/低所得国

出典）WDI（世界銀行）等。詳細は解説参照

表-1 我が国の対バングラデシュ援助形態別実績（年度別）

（単位：億円）

年 度	円借款	無償資金協力	技術協力
2009 年度	387.92	12.35	33.76(25.03)
2010 年度	—	31.49	27.74(24.11)
2011 年度	599.69	11.35	37.77(29.04)
2012 年度	1,663.76	22.08	36.32(28.39)
2013 年度	—	40.86	42.38
累 計	9,456.49	4,763.02	748.80(685.25)

※脚注参照

ミレニアム開発目標（MDGs）代表的な指標

	過去データ	最新データ
●目標1：1日1.25ドル未満で生活する人々の割合	70.2%(1992)	43.3%(2010)
●目標2：初等教育における純就学率	72.7%(1990)	—
●目標3：初等教育における男子生徒に対する女子生徒の比率（男子を1とした時の女子の人数）	0.84人(1990)	—
●目標4：5歳未満児の死亡数（1,000人あたり）	143.6人(1990)	40.9人(2012)
●目標5：妊産婦の死亡数（出生児10万人あたり）	550人(1990)	240人(2010)
●目標6：15～49歳のHIV感染率（100人あたりの年間新規感染者数の推定値）	0.01人(2001)	0.01人(2011)
●目標7：改良飲料水源を継続して利用できる人口の割合	76.2%(1990)	83.2%(2011)

出典）Millennium Development Indicators（The Official United Nations Site for the MDG Indicators）

バングラデシュに対する我が国ODA概要

1. 概要

我が国は、西側諸国に先駆けて1972年にバングラデシュの独立を承認して以降、一貫して友好関係を保ち、主要ドナーとしてバングラデシュの経済社会開発への取組に積極的に関わっている。

2. 意義

良好な二国間関係の増進、国際場裡における協力関係の強化に加え、新たな生産拠点や市場を求める我が国企業の同国への進出拡大を通じた、貿易・投資などの経済関係の拡大に貢献する。また、同国は人口の3分の1弱の貧困人口を抱えているところ、ミレニアム開発目標（MDGs）の達成を支援することで、同国の経済社会開発に貢献し、もって南アジア地域の安定的な発展に寄与する。

3. 基本方針

中所得国化に向けた、持続可能かつ公平な経済成長の加速化と貧困からの脱却に向けた支援を基本方針とする。我が国は、同方針に沿って同国の経済活動の活性化および社会の脆弱性の克服への取組を支援する。

4. 重点分野

- （1）中所得国化に向けた、全国民が受益可能な経済成長の加速化：運輸・交通インフラを整備し、人とモノの効率的な移動の促進、地域間格差の解消に貢献し、発電所および送配電網の整備などを通じて、電力供給量の増加を図る。また、民間セクターの活動を振興し、民間投資を誘致・増加させるため、投資環境の改善を支援する。
- （2）社会脆弱性の克服：貧困削減、初等教育、母子保健、安全な飲料水の供給などのMDGsの達成に貢献する。また、災害予警報、地震対策、河川管理などを中心に防災・気候変動対策や農村部の生活環境改善・生計向上を支援する。

※注）1. 年度の区分および金額は原則、円借款および無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 2009年～2012年度の技術協力においては、日本全体の技術協力の実績であり、2013年度の日本全体の実績については集計中であるため、JICA実績のみを示している。

（ ）内はJICAが実施している技術協力の実績および累計となっている。

表-2 我が国の年度別・形態別実績詳細（表-1の詳細）

（単位：億円）

年 度	円借款	無償資金協力	技術協力
2011 年度	599.69 億円 ・フルナ水供給計画 (157.29) ・パドマ多目的橋建設計画 (342.00) ・中小企業振興金融セクター計画 (50.00) ・母子保健改善計画（保健・人口・栄養セクター開発プログラム(フェーズ 1)) (50.40)	11.35 億円 ・食糧備蓄能力強化計画（詳細設計） (0.42) ・日本NGO連携無償(2 件) (0.13) ・食糧援助(WFP連携)(1 件) (8.10) ・人材育成奨学計画(3 件) (2.14) ・草の根・人間の安全保障無償(7 件) (0.56)	・母性保護サービス強化プロジェクトフェーズ 2 [11.07～16.06] ・TQMを通じた公共サービス改善プロジェクト [12.02～17.01]
2012 年度	1,663.76 億円 ・ダッカ都市交通整備計画 (I) (104.77) ・ベラマラ・コンバインドサイクル火力発電所建設計画 (414.80) ・全国送電網整備計画 (187.36) ・カチプール・メグナ・グムティ第 2 橋建設及び既存橋改修計画 (I) (289.45) ・カルナフリ上水道整備計画（フェーズ 2） (348.47) ・バングラデシュ北部総合開発計画 (205.56) ・再生可能エネルギー開発計画 (113.35)	22.08 億円 ・食糧備蓄能力強化計画（国債 1/3） (1.58) ・地下水調査及び深層帯水層水源開発計画 (7.28) ・日本NGO連携無償(4 件) (0.72) ・貧困削減戦略支援無償(1 件) (5.00) ・食糧援助(WFP連携)(1 件) (4.70) ・人材育成奨学計画(3 件) (2.02) ・草の根・人間の安全保障無償(8 件) (0.78)	・住民参加による統合水資源開発のための能力向上プロジェクト [12.10～17.10] ・ITEEマネジメント能力向上プロジェクト [12.10～15.12]
2013 年度	な し	40.86 億円 ・食糧備蓄能力強化計画(国債 2/3) (9.00) ・航空保安設備整備計画 (24.02) ・日本NGO連携無償(3 件) (0.59) ・貧困削減戦略支援無償(1 件) (5.00) ・人材育成奨学計画(3 件) (1.77) ・草の根文化無償(1 件) (0.02) ・草の根・人間の安全保障無償(5 件) (0.46)	・デジタルバングラデシュ構築のための地図作成能力高度化プロジェクト [13.10～16.12] ・公共投資管理強化プロジェクト [13.11～16.11] ・地方都市行政能力強化プロジェクト [14.02～17.12] ・チッタゴン上下水道公社組織改善・無収水削減推進プロジェクト [14.03～18.03]
2013 年度 までの累計	9,456.49 億円	4,763.02 億円	748.80 億円(685.25 億円) 研修員受入 14,663 人 専門家派遣 2,893 人

注) 1. 表-1 注釈同様

2. 技術協力においては、2011 年度以降に開始され 2013 年 4 月の時点で継続中の技術協力プロジェクト案件のみを掲載している。案件の [] 内は、協力期間。

3. 2011 年度円借款「パドマ多目的橋建設計画」は中止となっている。

表-3 我が国の対バングラデシュ援助形態別実績 (OECD/DAC 報告基準)

(支出純額ベース、単位：百万ドル)

暦 年	有償資金協力	無償資金協力	技 術 協 力	合 計
2009 年	-54.12	36.96 (9.74)	31.25	14.09
2010 年	-45.20	30.99 (9.69)	38.39	24.19
2011 年	11.76	23.35 (11.69)	43.09	78.20
2012 年	248.26	5.55 (1.73)	51.65	305.46
2013 年	263.75	17.55 (5.12)	45.96	327.27
累 計	298.53	4,909.66 (58.03)	864.89	6,073.09

出典) OECD/DAC

- 注) 1. 国際機関を通じた贈与については、2006年より、拠出時に供与先の国が明確であるものについては各被援助国への援助として「無償資金協力」へ計上することとしている。また、OECD/DAC事務局の指摘に基づき、2011年には無償資金協力に計上する国際機関を通じた贈与の範囲を拡大した。() 内は、国際機関を通じた贈与の実績 (内数)。
2. 有償資金協力および無償資金協力は、これまでに交換公文で決定した約束額のうち当該暦年中に実際に供与された金額 (有償資金協力については、バングラデシュ側の返済金額を差し引いた金額)。
3. 有償資金協力の累計は、為替レートの変動によりマイナスになることがある。
4. 技術協力は、JICAによるもののほか、関係省庁および地方自治体による技術協力を含む。

表-4 諸外国の対バングラデシュ経済協力実績

(支出総額ベース、単位：百万ドル)

暦 年	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	うち日本	合 計
2008 年	日本 886.95	英国 252.53	米国 134.60	オランダ 84.74	カナダ 82.06	886.95	1,723.05
2009 年	英国 250.08	日本 128.57	米国 99.76	ドイツ 73.13	オランダ 70.35	128.57	891.30
2010 年	英国 229.92	米国 151.50	日本 142.54	カナダ 86.11	デンマーク 84.31	142.54	1,044.25
2011 年	英国 368.62	日本 211.92	米国 142.87	韓国 81.80	オーストラリア 79.58	211.92	1,264.85
2012 年	日本 449.50	英国 310.81	米国 215.65	オーストラリア 120.85	ドイツ 81.63	449.50	1,498.17

出典) OECD/DAC

表-5 国際機関の対バングラデシュ経済協力実績

(支出総額ベース、単位：百万ドル)

暦 年	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	そ の 他	合 計
2008 年	IDA 836.78	ADB Sp. Fund 488.79	EU Institutions 194.48	GFATM 33.82	GAVI 27.72	75.09	1,656.68
2009 年	ADB Sp. Fund 354.55	IDA 328.48	EU Institutions 131.87	GAVI 26.79	Isl.Dev Bank 25.07	109.97	976.73
2010 年	IDA 352.40	ADB Sp. Fund 286.05	EU Institutions 188.65	GAVI 52.00	GFATM 42.08	131.25	1,052.43
2011 年	IDA 364.72	ADB Sp. Fund 288.30	EU Institutions 159.12	GFATM 33.82	GAVI 31.86	134.59	1,012.41
2012 年	IDA 703.93	ADB Sp. Fund 356.83	IMF-CTF 140.03	EU Institutions 128.21	GFATM 28.77	121.81	1,479.58

出典) OECD/DAC

注) 順位は主要な国際機関についてのものを示している。

表-6 実施済および実施中の開発計画調査型技術協力案件 (開発調査案件を含む) (開始年度が 2009 年度以降のもの)

案 件 名	協 力 期 間
石炭火力発電マスタープラン調査	09. 9~10.12
中核都市包括的開発機能強化プロジェクト	12.10~13.12
持続的な水関連インフラ整備に係る能力向上プロジェクト	13. 7~16. 6
省エネルギーマスタープラン策定プロジェクト	14. 1~15. 2

出典) JICA

表-7 2013 年度実施協力準備調査案件

案 件 名	協 力 期 間
マイクロクレジットシステムを取り入れた雨水タンク事業準備調査(BOP ビジネス連携促進)	11. 3～13.12
軽量太陽光パネルを用いた貧困層の生活水準向上事業準備調査(BOP ビジネス連携促進)	11.12～13. 7
自転車搭載型浄水器を活用した水事業準備調査(BOP ビジネス連携促進)	11.12～13. 7
安全な水供給のための BOP ビジネス事業準備調査(BOP ビジネス連携促進)	11.12～13.11
緑豆生産の体制構築事業準備調査(BOP ビジネス連携促進)	11.12～14. 1
ローカル開発食品による妊産婦と乳幼児の栄養改善事業準備調査(BOP ビジネス連携促進)	12. 7～13. 7
風力発電機と太陽光エネルギーによるミニ淡水化装置事業準備調査(BOP ビジネス連携促進)	12. 7～14. 5
チッタゴン石炭火力発電所建設事業準備調査	12. 7～15. 3
無焼成固化技術を使ったレンガ事業準備調査(BOP ビジネス連携促進)	13. 2～14. 1
スキンケア製品を切り口とした農村女性の生活改善事業準備調査(BOP ビジネス連携促進)	13. 2～14.12
メグナ川上流域水資源管理改善事業準備調査	13. 6～14. 2
天然ガスインフラ整備事業準備調査	13. 6～14. 2
人材育成奨学計画準備調査	13. 7～14. 7
航空保安設備整備計画準備調査	13. 9～14. 4
西部バングラデシュ橋梁改修事業準備調査	13.10～14.12

出典) JICA

表-8 2013 年度草の根・人間の安全保障無償資金協力案件

案 件 名
シブゴンジ郡ジャガイモ貯蔵施設建設計画
ダムライ郡農業訓練所建設計画
カグラチョリ丘陵地区貧困農家のための農業訓練所建設計画
ハジゴンジ・バザール診療所建設計画
バンドルバン丘陵地区先住民族のための食品加工施設建設計画

主なプロジェクト所在図

バングラデシュ① (円借款)



主なプロジェクト所在図

バングラデシュ②（無償資金協力及び技術協力プロジェクト及び円借款附帯プロジェクト）

